さらに次のステップへ！

老健おかやま

岡山県老人保健施設協会広報誌

2016｜夏号

P2
第2回中国地区介護老人保健施設大会in岡山 大会案内

P5
特集
老健と地域包括ケア

P6
協会だより①
平成28年度 第1回 岡山県老人保健施設協会 特別講演会及び総会について

P7
協会だより②
災害は忘れないうちにやってくる

P8
喀痰吸引等の研修について アンケート結果報告

P11
委員会だより

特集/第2回中国地区介護老人保健施設大会 In 岡山

大会実行委員長　秋山正史
岡山県老人保健施設協会副会長
倉敷藤戸荘　理事長

中国地区介護老人保健施設大会 in 岡山開催にあたって

この夏 8 月 18 日～19 日の2日間、岡山で第2回中国地区介護老人保健施設大会を開催します。メインテーマは「老健は希望。未来は老健！」、サブテーマを「老健は地域包括ケアの拠点になる」です。大会はわずか 2 日間ですが、中国地区の老健の方々が交流を深め、明日へのヒントをつかみ取っていただける様に運営スタッフ一同、準備に頑張っています。大会はモーニングセミナーに始まり特別講演、シンポジウムと続き盛りだくさんです。演者もそうそうたる顔ぶれで全国大会にも勝るとも劣らない充実したものになりそうです。どうぞご期待ください。また、研究発表は 2 日目（19 日）午前中です。多数のお申し込みをいただき、活発な討論が期待されます。懇親会も趣向をこらしました。なんと、各県施設スタッフによるファッションショーです。いつもの仲間がその夜はモデルとなり、キャットウォークを音楽に合わせて歩きポージングします。一夜限り。真夏の夜の夢。現在、参加登録の方もすでに 500 名を超えています。この夏、岡山大会に参加してアツイ、それでいてクールな 2 日間を一緒に過してみませんか？多くの方のご参加をお待ちしています！

大会会長　藤本宗平
岡山県老人保健施設協会会長
老人保健施設「虹」　理事長

大会コンセプト/キーワード

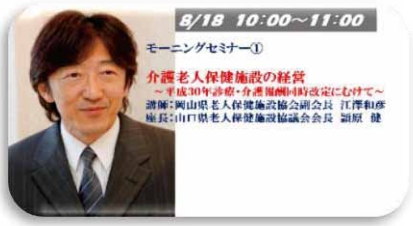
「第2回中国地区介護老人保健施設大会 In 岡山」の開催をひかえて、実行委員会のもと岡山県老人保健施設協会会員の皆様のご努力により、順調に準備が進んでいます。研究発表演題の募集も締め切り日には予定演題数に達し、大会実行委員会学術部会によるジャンルごとのセッションを決め、抄録の査読を待つだけです。特別講演、シンポジウムをはじめとする講師の陣容が整い、テーマの決定などプログラムはほぼ完成いたしました。今後、地域包括システム関連企業リストの編集と展示ブースの設計を行ないます。懇親会の準備も計画に沿い着々と進んでいます。参加してよかったと皆様が喜ばれるように、さらにアイデアを出し検討しています。参加者 1000 人以上を目指して PR 活動を積極的に展開していきたいと思います。

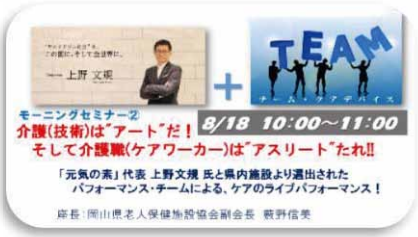
本大会のコンセプトをキーワードで紹介いたします。未来、希望、地域包括ケアシステム、参加型、コストパフォーマンス、新しいプレゼンテーションの試み、統一したデザイン・イメージカラー・映像・ミュージック、ライブ・パフォーマンス、タイムリーなテーマ、福祉のキホン。いずれも大会テーマに沿ったものです。

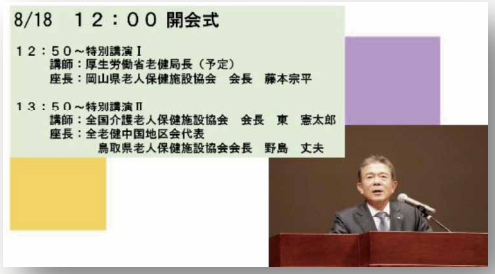
8 月 18 日、19 日の特別な 2 日間を岡山でご一緒に過ごしましょう。

1日目　8月18日(木曜日)

朝 9 時より岡山コンベンションセンターで受付が始まり、10 時から 2 会場で開催される**モーニングセミナー**により大会プログラムが動き出す。介護老人保健施設の経営をテーマに当協会きってのオピニョンリーダーである江澤和彦副会長が国の動向から分析し、経営努力を呼びかける。また、上野文規氏は率いるチームと最新介護技術の紹介をライブパフォーマンスで行なう。メインイベントを最初にプログラミングしたのは集客でもある。大会は参加者がいて始まる。

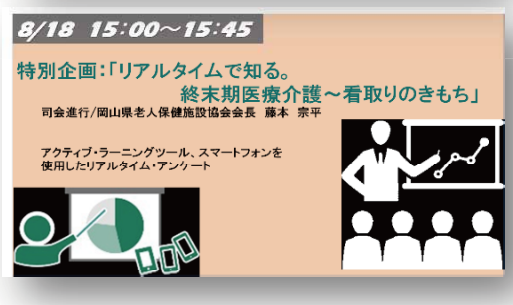






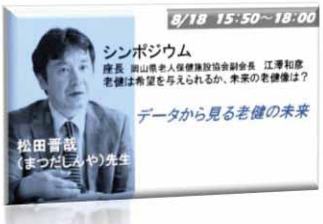
開会式はセンターのメインホールで岡山県内の介護関連団体の代表を迎え、格式に則り、厳かにかつ簡潔に執り行う。厚生労働省老健局長、全国介護老人保健施設協会会長に特別講演を依頼している。国および厚労省の正しい介護保険行政と全老健の的確な対応を示す講演に期待している。

実験的な企画であるが、以前より導入したいと思っていた双方向性、リアルタイム、参加型の**新しいラーニングツール**が最近のインターネット、スマホの普及で、簡単な操作でかつ格安で利用が可能となった。今大会では 200 人以上の参加者を見込んでいる。終末期医療・介護の課題を、より現実に則したリアルな質問からリアルタイムに回答を明らかにしたい。自施設での研修会などでこのツールをぜひ活用を。



シンポジウムは大会テーマである「未来」を語る場になるだろう。先駆的に活動されているシンポジストが 20 年、30 年先をイメージし、できれば「希望」が見える地点へナビゲートしていただきたい。

私たちはケアの専門職であると同時に、いずれ介護サービスを受ける地域住民でもある。地域包括ケアシステムが構築されたその先の未来の老健を楽しく想像したい。



懇親会が ANA クラウンプラザホテル岡山で 18 時半より開かれる。コストパフォーマンスを重視した運営を目指している。

手作りのアトラクションを企画して、サービスを得意とする老健スタッフの真骨頂が発揮されるだろう。

映像でのコーラスリレーからスタート。中国 5 県からの総勢 25 名の男女モデルがランウエィを歩く。前半は職場のユニフォームで登場し、その自信あふれた姿は専門職としての誇り、自施設へのロイヤルティを表現する。後半は私服で各県により少し工夫をこらした装いとする。私服は個人、一市民の象徴である。盛り上がること必至である。

2 日目　8 月 19 日（金曜日）

9:00～12:00　研究発表、活動報告
128 演題、19 セッションを岡山コンベンションセンター内の 7 会場で開催！

12:00～12:45　ランチョン・セミナー （要予約）

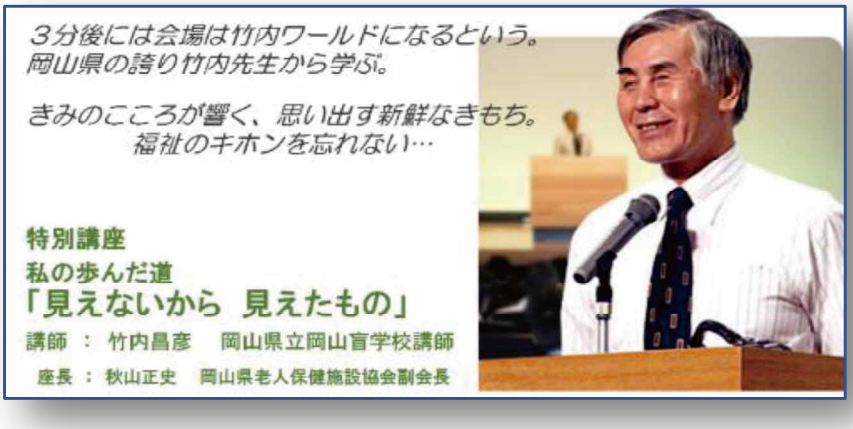
●ランチしながら
リラックスして学ぶ！
タイムリーなテーマ

8/19 13:00～15:00　パネルディスカッション
「介護老人保健施設が地域包括ケアシステムの拠点になる。そのために何を成すべきか」
～28 年度診療報酬改定から診療・介護報酬同時改定を展望して～　　座長：岡山県老人保健施設協会理事　福嶋　啓祐

1）**医療・看護**　… 藤井　功（広島県　ビーブル春秋苑　理事長）
2）**介護**　… 深田圭吾（鳥取県　仁風荘　介護福祉士/介護支援専門員/認知症ｹｱ専門士）
3）**リハビリテーション**　… 山崎　晃（島根県　サンホームみずほ　作業療法士）
4）**ケアマネジャー**　… 堀部　徹（岡山県　エスペランスわけ　岡山県介護支援専門員協会会長）
5）**ソーシャルワーカー**　… 原田侑季（山口県　宇部幸楽苑　社会福祉士・支援相談員）

●老健専門職ブレーンが
中国 5 県から結集！
パネルディスカッションを期待する！

●地域包括ケアシステム構築の
ベーシックなきもちを感じる！
竹内昌彦先生の特別講座



閉会式　16:10～16:30

地域包括ケアシステム関連企業展示　34 社
大会協賛企業（地域包括ケアシステム関連企業）　86 社

STAFF

老健と地域包括ケア

政府が平成27年度から実施している第6期介護保険事業計画（地域包括ケア計画）では、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて、地域にある社会資源を有効に組織し、住民の要望や思いを組み込み、「医療、介護、住宅、生活支援、介護予防」を中心に取り組むと共に、住民、専門職種、諸団体が参加した「地域づくり」の実施を目指しています。

社会保障・税一体改革を確実に進めると共に、団塊の世代が後期高齢者になる2025年の姿を見据えつつ、主要な改革を2018年度（平成30年度）までに集中的に取り組むことになっています。地域医療構想（地域医療ビジョン）策定ガイドラインでも、在宅復帰・在宅医療の充実がうたわれ、2016年度（平成28年度）の診療報酬改定に反映されました。

老健は入院医療から在宅医療・介護への「橋渡し役」であり、「リハビリテーション」と「在宅支援」をキーワードに、地域包括ケアシステムの構築に中心的役割を果たすべきと考えます。また老健は、それぞれの地域の特性を活かした多職種連携を実践してきており、まさに地域包括ケアステーションとしての実力を有しています。介護報酬の加算項目を見ても、老健が期待されていることは明らかです。訪問リハビリテーションも含め、施設から積極的に地域に出て、地域包括ケアのリーダーになりましょう。これが、老健の生きる道だと思います。

岡山には、20年以上の歴史を持つ保健・医療・介護・福祉の多職種が連携してプライマリ・ヘルスケアを実践してきた岡山プライマリ・ケア学会があり、昨年には岡山県医師会に地域包括ケア部会が組織されました。歯

岡山県老人保健施設協会 理事
介護老人保健施設 いるかの家
リハビリテーションセンター 理事長
福嶋 啓祐

科医師会、薬剤師会、看護協会、ケアマネ協会などと共に老健協からも委員が参画しています。さらには岡山県地域包括ケアシステム学会（老健協会長が理事として活動）も発足しました。第1回の学術大会が9月11日に開催されます。あらゆる場で、老健の活動をアピールしましょう!!

お仕事掲示板　各施設の工夫した業務や特徴ある仕事内容などを紹介!

高松アクティブホーム

岡山市北区立田587

高松アクティブホームでは、ご利用者様の自発性や意欲向上を図るために、リハビリを頑張れば、ポイントが貯まる仕組みを設けています。10ポイント貯まれば、イベントチケットに変換されます。現在は月に一回、施設内喫茶（アクティブカフェ）を開催し、チケットを持って参加して頂いています。ボランティアの方にも協力して頂き、ご利用者様にとって外出感を感じて頂けるように演出しています。地域のボランティアの方がご利用者様に話しかけて下さる事で、普段あまり話さない方が笑顔で会話する場面も多く見られます。特に喫茶の中で行っているカラオケはご利用者様に好評で、多くの方が懐かしい曲を大きな声で歌って下さっています。カラオケは男性のご利用者様の方が積極的ですね…。喫茶が終わると、「もう終わりかな…? 来月も頑張ってポイントを貯めて参加します!!」と言って下さるご利用者様も何人かおられます。

ご利用者様の生活背景や嗜好、趣味等は様々です。意欲の低下しているご利用者様に対し、通常の個別リハビリに加えてスタッフ全体で取り組む生活リハビリも充実させていき、自発的に動いて頂けるように働きかけていく事が今後も大切だと考えています。

平成28年度 第1回岡山県老人保健施設協会 特別講演会及び総会について

平成28年5月28日㈯14時より、岡山国際交流センターレセプションホールにて、特別講演会及び総会が開催されました。はじめに、藤本会長の挨拶があり、開会となりました。次に来賓挨拶として、岡山県医師会　石川紘会長にご挨拶をしていただきました。

特別講演は、岡山県保健福祉部　荒木裕人部長に、「岡山県の医療・介護の今後の連携について」と題してご講演いただきました。岡山県保健福祉部長に就任され当協会での講演会は最初であり、藤本会長からのプロフィール紹介から始まりました。地域包括ケアシステム構築に向け、今後の医療・介護の連携の重要性や具体的取り組み等について大変わかりやすくお話していただきました。

ひきつづき、総会が開会、出席者36名、委任状33名、合計69名の出席がありました。第1号議案、平成27年度事業報告、第2号議案、平成27年度収支報告、監査報告を行い、満場異議なく、承認可決されました。

また、8月18日㈭～19日㈮の2日間開催される第2回中国地区介護老人保健施設大会 in 岡山について、藤本大会長及び秋山実行委員長が大会内容、進捗状況、協力依頼等を行いました。その後、事務局より9月に大阪府で開催される全国大会について情報提供と参加の呼びかけがありました。

最後に、お忙しい中たくさんの会員の皆様にご出席いただきましたことを厚く御礼申し上げます。新規加入施設が加わり、会員総数79施設となり平成28年度がスタートいたしました。今まで同様に当協会の運営にご理解ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

災害は忘れないうちにやって来る

岡山県老人保健施設協会
会長　藤本宗平

熊本地震の余震が続く4月20日、AMDA菅波代表より岡山県老人保健施設協会（老健協）に介護支援ボランティアの派遣依頼の一報が入った。災害対策委員会委員長とともに、直ちに県下の会員施設にボランティア募集を依

頼し、スケジュール調整を開始した。5月27日まで延べ12名の介護福祉士を交代で熊本市東区佐土原の「特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹」に派遣した。

「災害は忘れないうちにやって来る」を念頭に老健協災害対策委員会を中心に災害規模別の対策の策定を推進しているが、いまだ構築できていない。県内被災施設への一食分の食料支援システムとボランティア募集、義援金の集金ぐらいである。この度のAMDAとの合同介護支援事業において老健協は貴重なボランティア経験を積みつつある。

平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震では被災した老人保健施設に震災ボランティアとして支援活動をAMDAと共に行った。熊本の介護現場が自立するまで介護支援を行いたい。

公益社団法人全国老人保健施設協会
岡山県支部 支部長　藤本　宗平　様

この度発生しました熊本地震の被害に際しまして、早々にご厚情あふれる励ましのお言葉と義援金や支援物資などをお送りいただき、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

新聞やテレビ等のメディアで報じられましたとおり、多大な被害を受けている地域もあり、県内の会員施設では施設運営に支障をきたし、運営を一時休止せざるを得ない施設もございます。

まだ余震が続き緊張した日々が続いておりますが、会員施設及び職員は皆様からの暖かい励ましと支援を受け、一歩ずつではありますが前を向き、今回の災害を乗り切って元の生活に戻れるよう尽力しているところです。

皆様のご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、今後もお力添えいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

甚だ略儀ではありますが、まずはご報告かたがたお礼を申し上げます。

ご支援いただきました会員施設皆様にもよろしくお伝えくださいますようお願い申し上げます。

公益社団法人全国老人保健施設協会
熊本県支部　支部長　山田　和彦

本年8月18日～19日に岡山市で中国5県の介護老人保健施設大会では、熊本地震における介護支援ボランティア報告をポスターで行いたいと考えている。

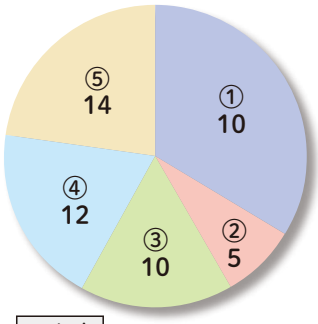
	氏　名	所　属	職種	派遣期間
1	岡本　　歩	さとう記念病院	介護	5月4日～5月8日(5日間)
2	国政　研太	さとう記念病院	介護	5月4日～5月8日(5日間)
3	高濱　俊仁	いるかの家リハビリテーションホーム	介護	5月7日～5月11日(5日間)
4	藤井　悠太	いるかの家リハビリテーションホーム	介護	5月7日～5月11日(5日間)
5	竹内　克太	倉敷藤戸荘	介護	5月10日～5月14日(5日間)
6	松下　昌美	虹	介護	5月10日～5月14日(5日間)
7	木元　嵩裕	老健あかね	介護	5月14日～5月18日(5日間)
8	藤田　智幸	夕なぎケアセンター	介護	5月14日～5月18日(5日間)
9	板谷　　実	亀龍園	介護	5月17日～5月21日(5日間)
10	松下　賢治	亀龍園	介護	5月17日～5月21日(5日間)
11	松下　明美	老健あかね	介護	5月20日～5月24日(5日間)
12	藤田　智幸	夕なぎケアセンター	介護	5月23日～5月27日(5日間)

※5/2～5/27までの期間で延べ12名、1人5日間にて支援活動に参加

喀痰吸引等の研修について
アンケート結果報告

「喀痰吸引等の研修」について4月にアンケート調査を行いました。その集計結果を報告します。
業務多忙の中ご協力いただき、ありがとうございました。【回答施設数／全78施設中51施設・回答率65%】

問1　介護職員等の喀痰吸引等の研修について



回答施設数62施設

- ①修了者がいる
- ②研修中
- ③研修予定
- ④検討中
- ⑤予定していない

●回答①の修了者がいる21施設の内訳
修了者1名が6施設、2名が3施設、4名が2施設、5名が2施設、7名が2施設、その他3名・6名・8名・11名・14名・37名が各1施設

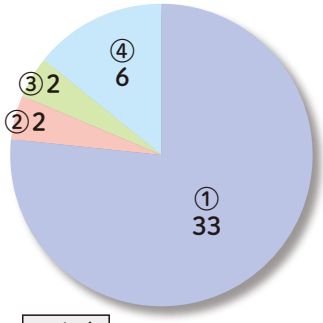
●回答②の研修中5施設の内訳
研修中3名が2施設、その他2名・4名・5名が各1施設

●回答③の研修予定10施設の内訳
研修予定1名が2施設、16名が2施設、その他2名・3名・6名・7名・8名・10名が各1施設

コメント

51施設より回答があり、重複を含めて修了者がいる施設は34%。研修中および研修予定を含めると58%、さらに検討中を含めると79%の施設が研修に取り組んでいると考えられる。また予定なしの施設は全体の22%を占めている。修了者がいる、研修中の人数を見ると、施設の規模にもよるが、1名が最も多く6施設あり、ほとんどの施設が14名までに集中している。また、1施設のみ突出しており37名であったが、ほぼ全ての介護職員が研修を受けているのではないかと思われる。このように取り組み方法も施設によりバラツキがあった。

問2　指導者講習終了者の看護職員について



回答施設数43施設

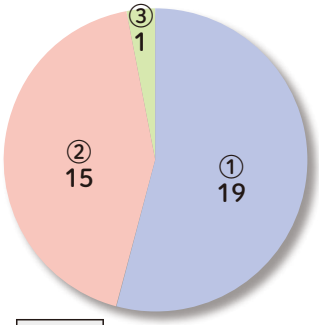
- ①いる
- ②予定している
- ③検討中
- ④いない

●回答①のいると答えた33施設の内訳
修了者の看護師1名が12施設、2名が11移設、3名が10施設

コメント

修了者は77%。予定しているを入れると81%、検討中までを含めると86%の施設が取り組んでいる。修了者を人数で見ると、1～3名であった。

問3　介護職員の喀痰吸引等の研修の実施について



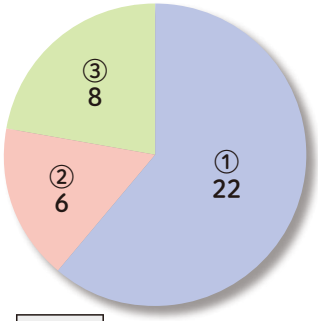
回答施設数35施設

- ①自施設の指導者講習会修了者が実施
- ②県が指定した登録研修機関へ依頼
- ③どちらでもない

コメント

自施設の指導者講習修了者が実施の方が、登録研修機関よりやや多かった。

問4　喀痰研修の実施研修について



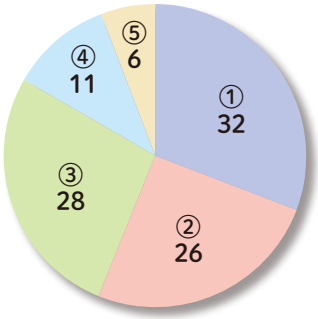
回答施設数36施設

- ①自施設の指導者講習会修了者が実施
- ②法人内の医療機関で実施
- ③回答なし

コメント

自施設で実施が61%、併設医療機関で実施が17%であった。回答なしが22%あるが「どちらでもない」「実施研修を行わない」という施設の意見があった。

問5　喀痰研修の実施研修の項目について



- ①口腔内の喀痰吸引
- ②鼻腔内の喀痰吸引
- ③胃ろうまたは腸ろう
- ④経鼻経管栄養
- ⑤気管カニューレ内部の喀痰吸引

お仕事掲示板　各施設の工夫した業務や特徴ある仕事内容などを紹介!

介護老人保健施設 くろかみ

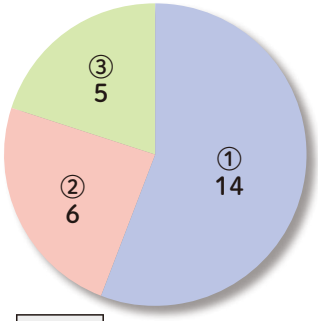
岡山県新見市高尾2306-5

くろかみで取り組んでいる「テレビ会議」を紹介します。

新見医師会立介護老人保健施設くろかみは、県西北端の新見市にあり、通常事業実施区域が市全域の793k㎡と広大です。当施設では、平成27年度から新設された「リハビリテーションマネジメント加算II」（以下「リハマネII」）の算定を8月から開始し、通所リハビリテーションの更なる機能強化に取り組んでいます。リハマネIIの中心となるのが、多職種のサービス担当者が一同に会するリハビリテーション会議（以下「リハ会議」）です。リハ会議を当施設で行うにあたって各サービス担当者や家族の移動時間が負担となっていました。その課題の解決策として、インターネットを活用したテレビ会議システムの試験的運用を行っています。まだ、利用は限定的ですが、参加できないサービス担当者から「テレビ会議なら他施設に訪問してそちらの会議時間に間に合わない場合でも、出先の車内等からでも会議に参加でき、資料も画面で確認できるので助かります。」との声をいただいています。

今後、リハマネIIの対象者の拡大にともない各サービス担当者参加者の負担が増える中、利用者家族を含め一人でも多くの関係者に会議参加いただき実のある会議としていくためテレビ会議システムを活用したいと思っています。

問6　喀痰研修の実施研修の修了者について



回答施設数25施設

①いる
②研修中
③いない

●**回答①のいると答えた14施設の内訳**
修了者1名が3施設、2名が2施設、5名が2施設、その他3名・4名・7名・8名・10名・11名、14名が各1施設

●**回答②の研修中6施設の内訳**
研修中3名が2施設、その他1名・4名・5名、37名が各1施設

※いないという回答の中で、老健で介護職員が実施する予定は今のところありません。という回答がありました。

コメント

問1の喀痰吸引等研修の修了者がいる21施設のうち、20施設が実施研修終了と研修中の施設がある。実施研修修了者の人数も14名までに集中している。また、問1の喀痰吸引など研修修了者が37名いる施設は、実施研修も全員研修中である。

問7　講習後資格取得者が何人いますか（県への届出修了者）

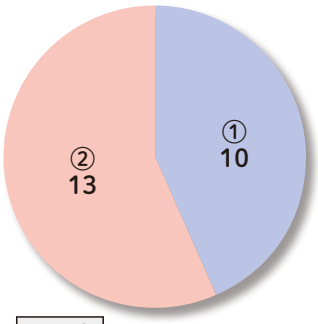
回答施設数15施設

資格取得者の内訳は、3名が5施設、1名が2施設、2名が2施設、4名が2施設、5名が2施設以外では、11名・12名がそれぞれ1施設ずつあった。

コメント

資格取得者人数の回答数は15施設しかなかったが、1～5名にほぼ集中しており、3名が最も多く5施設あった。それ以外では、11名・12名がそれぞれ1施設ずつあった。

問8　資格取得者は、現場で技術を活かせていますか



回答施設数25施設

①活かせている
②活かせていない

※活かせていない理由に、看護師が対応（どうしても不在の時は実施するが、現時点では事例無の意見有）

コメント

資格を持ちながら活かせていないという施設が56%を占めた。理由として、看護師不在時は行うが、現時点では事例がない、というコメントがあった。その他、対象利用者がいないというケースも推察されるのではないかと思われる。

問9　もし現場で技術を活かせるとしたら、事故（ヒヤリも含めて）等、何かトラブルはありませんか

あるという回答はなかった。ないという回答は11施設あった。

コメント

トラブルは0件であり、実際に実施している件数も少ないと思われるが、看護師との連携が良く取れている、指導者とともに細かく行っているというコメントもあった。

委員会だより

施設運営委員会
施設マネジメント部会

部会長／渡辺 清一郎

平成28年度 事業計画

1. 介護職員等の人材確保・離職防止対策

(1) 高齢者雇用促進モデル事業『いきいき介護チャレンジ事業』の継続

地域医療介護総合確保基金補助事業として、昨年10月より実施。本年度も継続して実施する。昨年度の実績を踏まえ、受け入れ施設の拡大や業務分析による高齢者の仕事の創出など、受け入れ環境の見直しを図るとともに、広報活動に注力し、より多くの参加者を募る。

(2) 外国人労働者受け入れ検討

EPAや技能実習生制度など外国人労働者を受け入れるシステムについて学習し、そのメリットとデメリットなどを整理・検討する。

(3) 知的障害者雇用検討

各支援学校やハローワーク等と連携し、介護施設における知的障害者の雇用モデルを検討する。

(4) 施設内保育施設の整備検討

施設内保育施設の整備により、以下のような効果が期待できる。

◆子育て・孫育てしながら働き続けることのできる職場環境。⇒人材の確保・定着
◆利用する子供たちが、幼い頃から介護施設に出入りし慣れ親しむことで、未来の介護士育成
◆子供とのふれあいにより、施設利用者に好影響

老健協内での施設内保育施設の現況を調査し、必要性を感じる施設向けに補助金を含めた各種制度の研修会を企画・開催する。

2. 岡山県老健議連の立ち上げ推進

対行政への発言力を強化すべく、県議会議員連盟の立ち上げを推進する。

3. ボランティア活動の実践

国内外を問わず大規模災害発生時、老健協全体での募金活動を迅速に推進する。

【部会メンバー（50 音順）】
くじば苑、ハートフルきらめき荘、やすらぎ、ゆめの里、ライフタウンまび

施設運営委員会
リスクマネジャー連絡会議

委員長／高越 秀和

平成27年度 活動報告

昨年度（H27年度）は、8月に第一回研修会として「リスク要因分析と対策立案」をテーマに全職員対象のセミナーを開催いたしました。

平成28年度 活動予定

今年度（H28年度）の活動予定に付きましても、リスクマネジャー連絡会議の主旨・目的を基に進めてまいります。

（主旨・目的）

1. 会員施設のリスクマネジャー関係者が集まり、リスクの情報を共有する事。又、最新のリスク対策を行う会議や研修会を開催すること

2. 他業種のリスクマネジメントも研究し、多角的な視点から、良い点を老健施設に取り入れること

（具体的な活動予定）

1. **担当施設（5施設）による今年度活動計画の打ち合わせ会議を、6月初旬に開催予定**
2. **昨年度の研修会を踏まえて、ステップアップしたテーマでセミナーの計画を検討する。**
3. **実務担当リスクマネジャーによる、事例発表及び事例検討会の計画を検討する。**
4. **各施設のリスク対策委員会との合同研修会（グループワーク等）での意見交換会の計画を検討する。**

お仕事掲示板　各施設の工夫した業務や特徴ある仕事内容などを紹介!

介護老人保健施設 すずらん

新見市哲多町本郷1223-3

哲多町介護老人保健施設すずらんは平成17年4月に開所し、今年で11年目を迎えました。地元に根付いた施設を目指し、職員一同がんばっています。

ボランティア活動の受入も積極的におこなっており、これまでも様々なボランティアの方々に支援をしていただきました。中でも平成22年から続いている活動でピアノ演奏をしてくださるボランティアは月に1回のペースで来所してくださり、素敵なピアノ演奏と四季に応じた歌を準備してくださり、利用者さんと一緒に楽しく歌っています。会を追うごとにいろいろな企画の案が飛び出し、職員が2部合唱をしたり、振り付きで歌ったり、楽器の得意な職員が演奏に挑戦したりしています。勤務の関係で練習もなかなかできませんが利用者さんの喜ばれる顔を見ることが励みになっています。最近では地元の方も演奏を楽しみに施設へ足を運んでくださっています。地域との交流の場となり利用者さんも大変喜ばれています。これからも新しい企画に挑戦していきたいと思います。

（リスクマネジャー連絡会議の担当施設）
玉島中央老健施設　秀明荘
泉リハビリセンター
きのこ老人保健施設
老健あかね
ひだまり苑

施設運営委員会
事務長部会

部会長／福嶋 啓祐

活動報告書

今年度は下記の通り活動を行う予定としております。

さらに、今年度行われます「第2回介護老人保健施設大会 in 岡山」が成功裡に終わりますよう、各施設事務長が一丸となって協力して参りたいと考えております。

今後ますます厳しい経営環境の中、この会を通じて会員介護老人保健施設の連携と質の向上を図り、ご利用者様へ最適なサービス提供を図って参りたいと考えておりますので、引き続き、ご協力の程宜しくお願いいたします。

（活動内容）
平成28年
5月　事務長部会幹事会
・中四国岡山大会について
・全体事務長部会について
8月　事務長部会幹事会
10月　全体事務長部会宿泊研修
・講演「上級管理職養成研修」
外部講師
・ゴルフコンペ
フットサル大会
11月　事務長部会幹事会
12月　倉敷地区分科会
岡山備前地区分科会
美作地区分科会
備中地区分科会
平成29年
2月　事務長部会幹事会
3月　全体事務長部会
・講演「上級管理職養成研修」
外部講師
・各地区より現状報告
・来期予算審議
・懇親会

調査および研究事業他
平成27年度　会員施設　定期経営調査

情報・広報（PR）委員会

委員長／山下 佐知子

広報委員は、8月に開催されます第2回中国大会の広報活動を担当しています。このため、6月22日・23日開催されます「マッチングプラザ2016」に参加し、中国大会のポスターを配布予定としています。

また、8月18日18時30分から開催されます、岡山大会交流会を担当し、「Roken Girls Collection in Okayama」と銘打って、中国5県から選出された老健職員によるユニフォーム（プロの誇り）と5つのスタイルを基調にした装いでのショーの企画及び準備をしています。

日中は、新しい知識・話題等でしっかり勉強していただき、夜はしっかり食べて・笑って楽しく過ごして頂ける会にしたいと思っています。

是非とも、岡山大会交流会に参加してください。お待ちしております。

学術委員会

委員長／藪野 信美

平成27年度 活動報告

平成27年度最後の活動として、平成28年2月23日㈫ライフパーク倉敷 大ホールにおきまして「第14回 職員合同研修会」を行いました。今回の合同研修会は介護保険制度改正から1年が経過し、あらためて老健施設の役割を考える機会を設けました。参加人数の57施設・163名の方々がご参加くださいました。

●プログラム
開会挨拶
岡山県老人保健施設協会 学術委員会
委員長　藪野 信美

会長挨拶
岡山県老人保健施設協会 会長
藤本 宗平

〈講演〉
「もしかして認知症?」
～ただのもの忘れ、にご注意を～
〈座長〉
岡山県老人保健施設協会 学術委員会
委員長　藪野 信美
〈講師〉
川崎医科大学 神経内科学
久徳 弓子 先生

〈講演〉
「老健施設のリハビリテーション」
～介護保険改定を受けて、これからのリハビリテーションを考える～
〈座長〉
岡山県老人保健施設協会　学術委員会 副委員長　秋山 正史
〈講師〉
岡山県作業療法士会 会長
楢原 伸二 先生

〈講演〉
「改正後1年を迎えた介護保険」
～平成30年の同時改正への対応は?～
〈座長〉
岡山県老人保健施設協会 学術委員会
副委員長　秋山 正史
〈講師〉
岡山県介護支援専門員協会 会長
堀部 徹 先生

閉会挨拶
岡山県老人保健施設協会 学術委員会
副委員長　秋山 正史

今回の合同研修会の内容は、「認知症」「介護報酬改定から1年」の2つのテーマで上記3名の先生にご講演いただきました。午前中は高齢者への虐待がメディアを賑わしている昨今、認知症を学ぶ機会を設け、正しく理解し日頃の高齢者との関わり方にも生かしていただきたいと思い、久徳先生にご講演をお願いしました。認知症について症例別に詳しく教えてくださり、アンケートの意見からも「とても分かりやすい講演で大変勉強になりました。」「認知症予防のために早期発見、早期対応が大切なことを知り、職場だけ

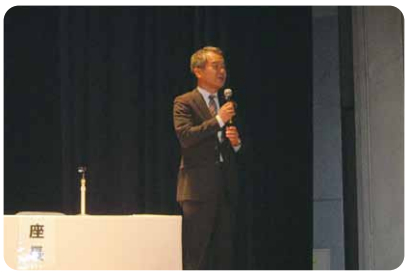
ではなく家族のためにも参考にさせていただきます。」等の意見が多く聞かれとても好評でした。

午後からは「介護報酬改定から1年」改めて老人保健施設の役割について振り返る機会を持ちました。堀部先生の講演は、在宅復帰、地域との連携等、自施設の現状を見直し、今やるべきこと、出来ることを考えることの大切さや今後の動向を見据えながら準備することの大切さを教えていただきました。楢原先生の講演では制度改正毎に「加算」にばかり固執しがちですが、本当にやるべきリハビリは、ご利用者1人ひとりとしっかり向き合い、その人らしく生活していただくために、老人保健施設の職員がチームとして協力し、アプローチしていくことが大切なんだということを改めて教えていただけた気がしました。

平成28年度 活動予定

平成28年度の学術委員会の活動としては例年通り各部会、ブロックの研修会は行います。しかし、今年度は「第2回中国地区老人保健施設大会 in 岡山」が岡山にて開催されるため、「岡山県老人保健施設大会」は行いません。是非多くの方に「第2回中国地区老人保健施設大会 in 岡山」に参加していただき、大会を盛り上げていただければと思います。なお「第15回職員合同研修会」はライフパーク倉敷にて、平成29年2月9日㈭に開催を予定しております。

今後とも、研修会への積極的な参加と学術委員会へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



お仕事掲示板　各施設の工夫した業務や特徴ある仕事内容などを紹介!

老人保健施設 ひだまり苑

高梁市川上町地頭2337-1

当苑は一般棟40床と認知症専門棟30床を有しています。一般棟は医療的ケアが必要な方、認知症専門棟は常時見守りや介助を要す認知症高齢者で約9割がアルツハイマー型認知症のご利用者です。

開設以来、在宅復帰を目指した生活リハビリを施設内外で実施してきました。各階4～5名のご利用者に参加していただき、調理や趣味活動などの生活に根差した内容で活動を行っています。

現在は当苑と隣接したNPO法人の運営する高齢者住宅の入居者及び地域のボランティアさんとも合同で実施しているので、参加者から地域の話題や思い出話に花が咲き「楽しかった。みんなで作るご飯は美味しい。また行きたいわ。」と、とても楽しみにしていただいています。

また、継続的な生活リハビリは情緒の安定や心身の自立へとつながり、自宅またはグループホームなどへ生活の場を広げています。

ひだまり苑の

こんな活動

～地域とともに行う生活リハビリ～

第27回全国介護老人保健施設大会 大阪
平成28年9月14日㈬～16日㈮

第28回全国介護老人保健施設大会 愛媛in松山
平成29年7月26日㈬～28日㈮

大会会長　吉野 俊昭

「第28回全国介護老人保健施設大会　愛媛 in 松山」は、平成29年7月26日㈬から28日㈮にかけて、ひめぎんホール（愛媛県松山市道後町2-5-1）を拠点に開催されます。

松山は四国最大の都市であり、代表的な名所として松山城や、日本書紀にも登場し、また夏目漱石の「坊ちゃん」の舞台となった日本最古の道後温泉があります。俳人正岡子規や秋山兄弟をはじめ、多くの文人や偉人を輩出するなど地方文化の拠点でもあり風光明媚な街です。

本大会では、「坂の上に輝く一朶の白い雲～超高齢社会のニーズに応えられる老健を目指して～」をテーマに掲げておりますが、これは長編歴史小説『坂の上の雲』に登場する、日本を欧米近代国家にしようと自らの目的を疑うことを知らずに奮闘する楽天的な明治人たちを、作者（司馬遼太郎）があとがきに書いた「楽天家たちは、そのような時代人としての体質で、前をのみ見つめながらあるく。のぼってゆく坂の上の青い天にもし一朶の白い雲がかがやいているとすれば、それをのみ見つめて坂をのぼってゆくであろうからきています。私たちは『坂の上の雲』の明治人のように、坂の上に輝く一朶の白い雲をのみ見つめてのぼってゆき、10年、20年、30年先の超高齢社会のニーズに応えられる大会を目指しております。

真夏の開催となりますが、「西日本一の石鎚山の緑」、「しまなみ海道の青い海」、おせったいの街“愛媛”をゆっくり楽しんでください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

温故知新

おんこちしん

郷土の偉大な先人たち

第9回

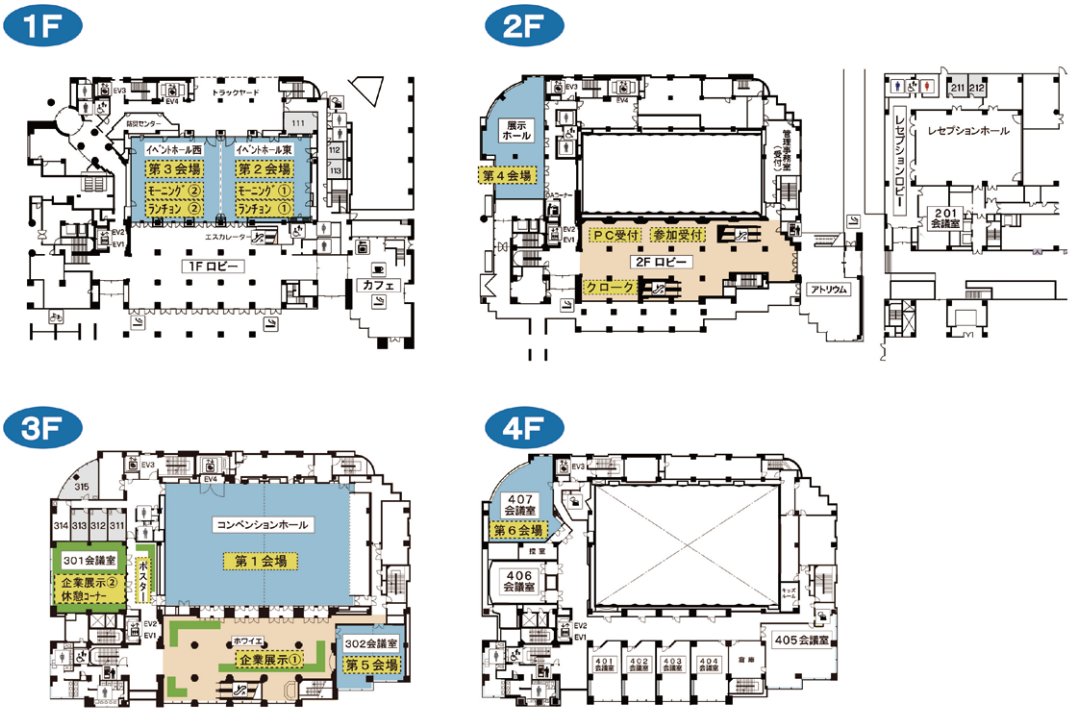
馬越恭平（一八四四年～一九三三年）

日本で最初のビヤホールを作った日本のビール王

恵比寿ビヤホールの当時の外観

井原市木之子町で代々医者の家系に生まれた馬越恭平は、13歳で大坂に出て、一時鴻池の丁稚となりましたが、まもなく播磨屋の養子となりました。馬越はその後、英語を学んだ後、明治6年、上京して井上馨の先収会社に入社しました。この会社はまもなく解散しましたが、馬越はこのとき3000円という破格の手当をもらい、いったん郷里の木之子に帰って、両親の生活の安定を見届けた上で、再び上京し、旧三井物産にそのまま入社し、明治10年に横浜支店長、26年に常務理事になり辣腕をふるっていました。

日本麦酒、大阪麦酒、札幌麦酒が合併して「大日本麦酒株式会社」が誕生すると、当時旧三井物産の理事だった馬越を経営陣に迎え難局に当たらせる事になりました。彼はビールを売るためにいろいろとアイデアを出し、銀座に日本で最初のビヤホールを作ったのも馬越でした。馬越時代の大日本麦酒は発展を続け、市場シェアは79％に達し、馬越は「日本のビール王」といわれるまでになりました。明治31年には代議士におされ、大正13年には勅撰されて貴族院議員となるなど、89歳の高齢にいたるまで国事に奔走しました。また、地元に対しても井笠鉄道の初代社長に就任したほか莫大な寄付を行い地元の発展に貢献しました。1933年（昭和8年）89才で永眠。



【編集後記】

本年8月18日㈭～19日㈮の2日間「第2回中国地区介護老人保健施設大会 in 岡山」が岡山コンベンションセンター・ANAクラウンプラザホテルを中心として開催されます。実行委員会も熱を帯びてきて、本誌も関連記事を載せています。広報委員会は、2010年の全国大会に引き続き、懇親会を担当しています。前回のDJパフォーマンスに負けない、アトラクションを予定しています。

ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

情報・広報（PR）委員会委員長
勝央苑　山下 佐知子

【委員会メンバー】

〈委員長〉
山下 佐知子
〈委　員〉
藤本 宗平・西　浩二・植木　潤・坂田 美佐（虹）
岸本 純哉・末菅 絵理子（勝央苑）
寺坂 公志（のぞみ苑）
黒薮 竜二（作東老健）
小山　修（美作リハビリテーションホーム）
加藤 隆寛（ケアガーデン津山）
小野 浩之（ゆうあい）
岡　真吾（白梅の丘）
神浦 哲也（さとう記念病院）
吉澤　徹（ナーシングホーム大樹）
河田 清香（福寿荘）
杉本 裕美（さくら苑リハビリセンター）

【表紙企画】

藤本 宗平・岸本 純哉

老健おかやま

【発　行】一般社団法人 岡山県老人保健施設協会　【事務局】一般財団法人 共愛会　老人保健施設 虹
〒708-0333 岡山県苫田郡鏡野町古川1406　TEL 0868-54-3250　FAX 0868-54-4533　http://roken-okayama.com/
【印　刷】有限会社 弘文社
〒708-0841 岡山県津山市川崎168　TEL 0868-26-1080㈹　FAX 0868-26-1575　t-kobunsha@vega.ocn.ne.jp